

躍動の姿 ～体育大会～

- 前日までの雨の影響で開始時刻を午後に変更したものの、予定していた5/14(土)に体育大会を実施することができました。
- 当日朝、運動場のあちこちに水たまりができていて不安でしたが、午前中の職員総出の整備に加え、幸運にも陽が差してきたこともあり、風からの開会にこぎ着けました。
- 開始時間の変更があったにもかかわらず、多くの皆様に参観いただきありがとうございました。スローガン「限界突破～232色の虹を輝く空へ～」のもと、生徒が力の限り走って踊って、躍動する姿をご覧いただけたと思います。
- 今年は練習期間の降雨が多く、予行練習もできませんでした。少し手間取る場面もありましたが、大きなけがをしたり、熱中症にかかったりする生徒もおらず、全てのプログラムを終えることができたことを嬉しく思います。
- 大きな行事が終わりました。生徒の皆さんはぜひ体育大会と自分との関わりを振り返ってみましょう。自分は何を頑張ったのか、ここで何を学んだのか、これからの生活に何を生かしていくのか、そうしたことを客観的に振り返ることも大切です。きっと今後の成長につながる事ができるはずです。



坂本みゆき さんを迎えて

- 5/19・24の2日にわたり、水俣市にお住まいの坂本みゆきさんを本校にお招きして1・2年生に向けた講話をしていただきました。
- 坂本さんは、水俣市で生まれ育ち、水俣病や水俣病に関係する人権問題に深く関わってこられました。これまでのご経験や思いを生徒たちが直接聴くことで、改めて人権の大切さや人の心の中に潜む差別心について考える機会となりました。話を聴いた後に多くの生徒が質問し、感想を発表する姿も印象的でした。
- また、「自分を語る」意味や大切さも話されました。「自分のことを、それも普段話さないことを人に話すことは抵抗があるかもしれない、しかしそうすることで自分と向き合ったり、人より深くつながったりすることができる」ということを伝えていただきました。
- ここで学んだことは、今後の人権学習はもちろん、様々な生活の場面で生かしていきます。



ご協力いただいています

- 昨年度から設置している「西中ギャラリー」ですが、新たに3点の作品(抽象画)を提供していただきました。西原村出身の内田 勝弘(うちだ かつひろ)様の作品です。
- 内田様は、天津高校の普通科美術コースの教師として活躍されました。本校の卒業生もお世話になったのではないのでしょうか。
- こうして郷土の方からご協力いただいていることを嬉しく思います。今後も益々地域と学校との結びつきが強くなることを願っています。

